

全米の関係者が一堂に会し、横断的に情報交換・交流・各地をPR etc. —米国シーニック・バイウェイ視察報告—

「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」をめざすシーニックバイウェイ北海道は今年度本格始動し、指定された3つのルート（支笏洞爺ニセコルート、大雪・富良野ルート、東オホーツクシーニックバイウェイ）では活発に活動を展開しています。また、decおよび7月に設立された有限責任中間法人シーニックバイウェイ支援センター（リソースセンタージャパン）においても、より専門的な知識や情報集積、活動団体との連携をつよめるため調査研究を進めています。

去る10月16日から20日、同支援センターは米国シーニック・バイウェイ視察ツアーを実施。decからも参加し、National Scenic Byway Conference（全米シーニック・バイウェイ会議）を中心に視察するとともに活動状況を学びました。（dec地域政策研究室／佐藤寛人・田中寿明）

全米シーニック・バイウェイ会議の概要

全米シーニック・バイウェイ会議は1999年から、2年に1度アメリカバイウェイリソースセンター（ABRC）と米国連邦道路庁（FHWA）の2者の主催により、ABRCが事務局運営を担い継続的に開催されています。〈表1〉本会議は、有識者による基調講演、セミナー形式及び現地視察によるワークショップ、展示会などのプログラムから構成されており、全米各地でシーニック・バイウェイに携わる関係者が一堂に会し、分野毎の横断的な意見・情報交換が行われている他、交流を深める場となっています。

National Scenic Byways Conference 2005

■複数回のワークショップ開催で参加をフォローアップ

今回、我々が参加した全米シーニック・バイ

ウェイ会議2005は、10月16日から20日にかけてオハイオ州クリーブランド市にて開催されました。全体スケジュールは〈表2〉のとおりです。

初日の16日にクリーブランド植物園でのオープニング・レセプションで幕を開け、17、18日の2日間は市内のホテルの各会場においてセミナー形式のワークショップ、17日には全体昼食会が開かれ、アメリカにおける旅行のエキスパートの第一人者である、ルディ・マクス氏（Mr. Rudy Maxa）の基調講演と意見交換が行われるとともに、ロックンロール・ホール・オブ・フェームにてオフサイト・レセプションが開かれ参加者の親交を深める場となりました。

セミナー形式のワークショップは、「コリドー・マネジメント」、「基金（資金調達）」、「組織」、「来訪者の経験」の4つの主要分類を基本とし、複数の会場にて様々なテーマに基づき開催されました。〈表3〉これらのワークショップは日時を変えて複数回開催され、別のワークショップに出席していたために参加できなかった方たちへのフォローアップも行われていました。

〈表1〉全米シーニック・バイウェイ会議の経緯

1999年	第1回大会	ルイスビル市（ケンタッキー州）
2001年	第2回大会	ポートランド市（オレゴン州）
2003年	第3回大会	アルバカーキ市（ニューメキシコ州）
2005年	第4回大会	クリーブランド市（オハイオ州）

〈表2〉全体スケジュール

10月16日（日）	バイウェイズ・オンライン・ミーティング（登録者のみ）	出展者設営	バイウェイ新規参加者オリエンテーション	オープニング・レセプション（クリーブランド植物園）
10月17日（月）	朝食会	全体会議	展示会場オープン	バイウェイズ・オンライン・ミーティング（登録者のみ）
		同時開催ワークショップ（セミナー形式）	昼食会	基調講演及び講演者との全体会議
		同時開催ワークショップ（セミナー形式）	オフサイト・レセプション（ロックンロール・ホール）	
10月18日（火）	展示会場オープン	バイウェイズ・オンライン・ミーティング（登録者のみ）	同時開催ワークショップ（セミナー形式）	昼食会
		全体会議	ポスター・セッション（展示会場）	
10月19日（水）	朝食会	一日ワークショップ（シーニック・バイウェイで実施）	半日ワークショップ（シーニック・バイウェイで実施）	アンコール・クロージング・レセプション
10月20日（木）	州／連邦道路局コーディネーター・ワークショップ（州及び連邦道路局のみ）			



第4回大会の幕開けとなったクリーブランド植物園でのオープニング・レセプション

ワークショップでは専門家がパワーポイントを用いて説明を行い、配布資料がない場合が多く、参加者が常に発言者に注目する状況です。説明内容は各地で行われているシーニック・バイウェイの取り組みに基づいており、参加者から盛んに質疑が出され、各会場で活発な議論が行われました。

19日はこれまでのセミナーで得た情報が実際の状況にどのように当てはまるかを確かめる、実地研修形式のワークショップが行われました。実際にシーニック・バイウェイの取り組みが行われている地域を講師とともに視察し、活動状況について学ぶことができる価値的なワークショップでした。

■シーニック・バイウェイ缶バッジでビンゴゲーム

会議の別会場では展示会場が設けられ、全米各地のシーニック・バイウェイ活動団体が各地のポスターやパンフレット、写真等を展示しており、それぞれの活動状況をPRしていました。これらのパンフレット類は自由に持ち帰ることができ、全米のシーニック・バイウェイの情報を一度に収集することが可能となっていました。



ワークショップでは資料が配布されない場合が多く、参加者は発言者に注目する



（National Scenic Byways Conference 2005 のプログラムより）

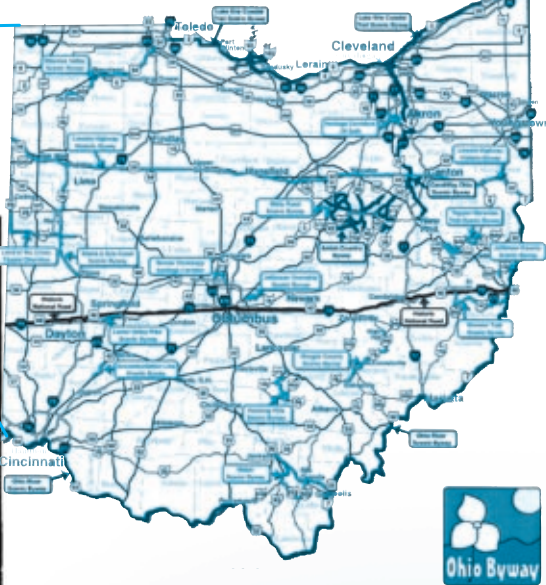
また、各ブースにはそれぞれ活動団体の方々が常駐しており、展示会場においても全米各地の情報・意見交換や交流・親交が図られるようになっていました。また、民間企業のブースも多く出展され、シーニック・バイウェイの取り組みの先進性を印象づけていました。

会議のプログラムについても、会議スケジュールの羅列ではなく、形式張っておらず、



（National Scenic Byways Conference 2005 のプログラムより）各地のシーニック・バイウェイが工夫をこらしPRされた

Ohio's Designated Scenic Byways



展示会場でも各地の情報や意見交換、交流が盛んに行われていた

第三者が見て興味を引くような工夫がなされています。また、参加者にはオリジナルトートバッグや全米各地のシーニック・バイウェイ缶バッジ等が渡され、このバッジでビンゴゲームを行い、当選者にはオリジナルTシャツやマグカップをプレゼントするなど、シーニック・バイウェイ活動の普及と各地のシーニック・バイウェイのPRに関する工夫も盛り込まれていました。

■印象的だった地域事例の多様さ、女性の活躍

全米シーニック・バイウェイ会議2005に参加して印象的だったことは、コリドー・マネジメント等に代表される分野毎の地域事例が多様であったことはもとより、それを推し進めている地域活動団体の主要メンバーの多くが女性であったことです。本年、本格始動したシーニック・バイウェイ北海道も、今後は、女性の参画の度合いが持続的・効果的な制度運用につながるものと感じられます。



受付風景

ワークショップテーマ（セミナー形式）	
主要分類	テーマ
全体	●バイウェイ・コネクション：旅行と観光における興味の対象
	●バイウェイ・コネクション：産業と保護団体
CORRIDOR MANAGEMENT コリドー・マネジメント	●バイウェイ・コネクション：連邦機関
	●バイウェイのゾーニング及び土地利用
CORRIDOR MANAGEMENT コリドー・マネジメント	●道路管理者：バイウェイの道路を管理する運輸省その他機関との連携
	●経済的影響：どのようなものか、バイウェイのためになるのか
FUNDING 基金（資金調達）	●サインの基本：使い方、素材、デザイン
	●バイウェイ向けの技術
FUNDING 基金（資金調達）	●バイウェイの許容量：何人の旅行者を扱えるか
	●ビジターセンター：予算、運営、維持、管理
FUNDING 基金（資金調達）	●資金の受け入れ：責任を持った受け取り方
	●共同マーケティング戦略
FUNDING 基金（資金調達）	●私的資金調達
	●資金調達：始め方
FUNDING 基金（資金調達）	●予算作成：責任ある支出
	●持続可能なバイウェイ団体の組織：基本補助金の長期的活用
ORGANIZATIONS 組織	●アイデアを行動に：効果的なプロジェクトマネジメントと実行
	●生産的な結果につなげる紛争管理
ORGANIZATIONS 組織	●プロジェクト評価：何を実際に達成したのかを見極める
	●一般からの意見の集め方：創造的コミュニケーション・ツール
VISITOR EXPERIENCE 来訪者の経験	●バイウェイを Web に載せ、機能させる方法
	●車を使わない旅行者達：アクセス、安全性、誘導
VISITOR EXPERIENCE 来訪者の経験	●道案内：来訪者が迷わないようにする工夫
	●トラベルライターを引き付ける：メディアに載せる第一歩
VISITOR EXPERIENCE 来訪者の経験	●バイウェイの行程づくり

ワークショップテーマ（現地視察と併せた実践編）	
主要分類	テーマ
CORRIDOR MANAGEMENT コリドー・マネジメント	◆アブライド・テクノロジー（実践技術）
	◆標識と案内
CORRIDOR MANAGEMENT コリドー・マネジメント	◆解説の機会
	◆都市部における戦略
FUNDING 基金（資金調達）	◆ヒストリック・ロード
	◆バイウェイ同士の協力
FUNDING 基金（資金調達）	◆ボランティアの力
	◆コミュニティの力
ORGANIZATIONS 組織	◆政府機関との協調
	◆バイウェイ同士の協力
ORGANIZATIONS 組織	◆ボランティアの力
	◆バイウェイにおけるホスピタリティ・トレーニング
VISITOR EXPERIENCE 来訪者の経験	◆解説の機会
	◆本物の経験
VISITOR EXPERIENCE 来訪者の経験	◆障がいを思いやる